

操作のしくみと表示の見方 ◎ ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。

カレンダー表示

< 曜日の見方 >

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

< 機種により形状は異なります >

ライト点灯について

どの表示（セット中は除く）のときでも、D ボタンを押すと約 2 秒間ライトが点灯します。

モジュール 2327 はデジタル部が点灯し、モジュール 2387 はアナログ部とデジタル部が点灯します（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）。



< ご注意 >

直射日光下では、発光が見えにくくなります。

発光中に電子音が鳴ると発光を中断します。

ライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

モジュール 2327 は、発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

◎ 以下、アナログ（針）部省略

デジタル時刻表示

午後マーク（午前は消灯）

AL ST DL

時 分 秒

アラーム表示

AL ST DL

アラーム表示マーク アラーム時刻

ストップウォッチ表示

AL ST DL

計測値 ストップウォッチ表示マーク

デュアルタイム表示

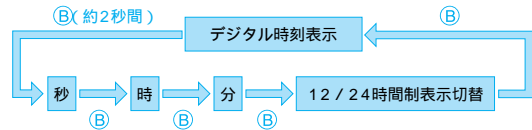
AL ST DL

デュアルタイム デュアルタイム表示マーク

デジタル時刻の合わせ方 電池交換後などで、時刻が合っていないときは、以下の方法でセットします。

準備：◎ ボタンを押して「デジタル時刻表示」にします。

「デジタル時刻表示」のとき、ⓑ ボタンを約2秒間押し続けると“ADJ”と表示されて、「秒」が点滅します。以後、ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

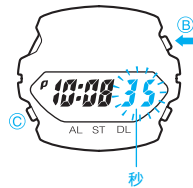
(1) 「秒の合わせ方」...30秒以内の遅れ進みの修正
月に一度くらい秒合わせをしていただくと時刻はいつも正確です。

ⓑ ボタンを約2秒間押しして「秒」を点滅させます

⇒「秒」が点滅しているとき、◎ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。
「秒合わせ」後、ⓑ ボタンを4回押しすと、点滅が止まります。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。

アナログ(針)部省略



(2) 「時」のセット

「秒合わせ」後、ⓑ ボタンを押して「時」を点滅させます

⇒「時」が点滅しているとき、◎ ボタンを押すと数字が1つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。

◎ ボタンを押し続けると早送りします。



(3) 「分」のセット

「時」セット後、ⓑ ボタンを押して「分」を点滅させます

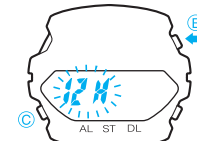
⇒「分」も「時」と同様に◎ ボタンでセットします。



(4) 12 / 24 時間制の切り替え

「分」セット後、ⓑ ボタンを押します

⇒ 12 / 24 時間制表示の切り替えとなり、◎ ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



(5) セットが終わりましたら、ⓑ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

アナログ(針)部の合わせ方

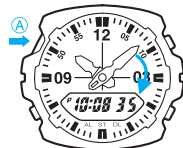
デジタル部がどの表示のときでも、

Ⓐ ボタンを押します

⇒ Ⓐ ボタンを押すごとに1/3分(20秒)ずつ進みますので、合わせたい時刻を表示させます。

押し続けると早送りします。

分針はデジタル時刻の秒が00秒、20秒、40秒になったときに1/3分(20秒ずつ)進みます。

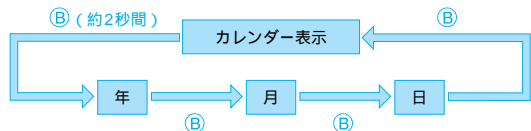


カレンダーの合わせ方

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

準備：◎ ボタンを押して「カレンダー表示」にします。

「カレンダー表示」のとき、ⓑ ボタンを約2秒間押し続けると“ADJ”と表示されて、「年」が点滅します。以後、ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

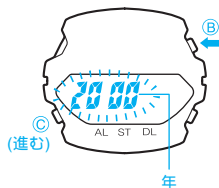
(1)「年」のセット

ⓑ ボタンを約2秒間押して「年」を点滅させます

⇒「年」が点滅しているとき、◎ ボタンを押すと数字が1つずつ進みますので、合わせたい「年」を表示させます。

◎ ボタンを押し続けると早送りします。

アナログ(針)部省略



(2)「月」のセット

「年」セット後、ⓑ ボタンを押して「月」を点滅させます

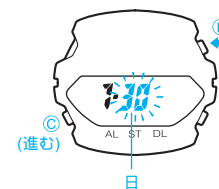
⇒「月」も「年」と同様に◎ ボタンでセットします。



(3)「日」のセット

「月」セット後、ⓑ ボタンを押して「日」を点滅させます

⇒「日」も「年」と同様に◎ ボタンでセットします。



(4) セットが終わりましたら、ⓑ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

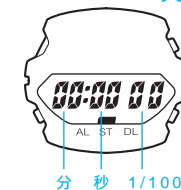
準備：◎ ボタンを押して「ストップウォッチ表示」にします。

ⓑ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

計測終了後、ⓑ ボタンを約2秒間押すと計測値が0に戻ります(リセット)。

アナログ(針)部省略

- ・スタート
- ・ストップ
- ・リセット



通常計測



積算計測(ロスタイムのある計測)



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないます。

アラームの使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせてくれます。
アラームはデジタル時刻にしたがって鳴ります。

アラーム時刻の設定

準備：◎ ボタンを押して「アラーム表示」にします。

「アラーム表示」のとき、ⓑ ボタンを約2秒間押し続けると“ADJ”と表示されて、「時」が点滅します。以後、ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

(1)「時」のセット

ⓑ ボタンを約2秒間押しして「時」を点滅させます

→「時」が点滅しているとき、◎ ボタンを押すと数字が1つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。

◎ ボタンを押し続けると早送りします。「時」の午前/午後(P)にご注意ください。デジタル時刻を24時間制にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

アナログ(針)部省略



(2)「分」のセット

「時」セット後、ⓑ ボタンを押して「分」を点滅させます

→「分」も「時」と同様に◎ ボタンでセットします。



(3)

セットが終わりましたら、ⓑ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

<ON状態>



<OFF状態>



アラームのON / OFF 設定

アラーム表示のとき ⓑ ボタンを押すごとに、アラームのON / OFF が切り替わります。

アラームを鳴らしたいときはアラーム時刻を表示させます。

鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

モニターアラーム

どの表示(セット中は除く)のときでも、◎ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

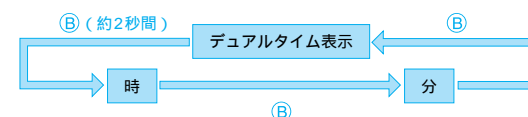
デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。
秒はデジタル時刻と連動しています。

デュアルタイムのセット

準備：◎ ボタンを押して「デュアルタイム表示」にします。

「デュアルタイム表示」のとき、ⓑ ボタンを約2秒間押し続けると“ADJ”と表示されて、「時」が点滅します。以後、ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。



点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

(1)「時」のセット

ⓑ ボタンを約2秒間押しして「時」を点滅させます

→「時」が点滅しているとき、◎ ボタンを押すと数字が1つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。

◎ ボタンを押し続けると早送りします。デジタル時刻を24時間制にしているときはデュアルタイムも24時間制で表示されます。

アナログ(針)部省略



(2)「分」のセット

「時」セット後、ⓑ ボタンを押して「分」を点滅させます

→「分」も「時」と同様に◎ ボタンでセットします。



(3)

セットが終わりましたら、ⓑ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。